

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次

Rotary
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日

●事務局 ☎491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931

UNITE FOR GOOD

URL: <http://rc138.org>

E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

2025年10月9日
第3652回例会

プログラム

米山月間卓話

米山記念奨学生 李 昱さん

ロータリーソング「我等の生業」

第3651回例会の記録
2025年10月2日(木)

会長挨拶

山上哲司

今日から三好カントリー倶楽部で第55回「バンテリン東海クラシック」が始まりました。栄華を極めていいる女子ツアーに対し、男子ツアーは厳しい状況下にありますが、東海クラシックは1970年創設された歴史あるトーナメントで、ゴールデンウイークに名古屋ゴルフ倶楽部和合コースで開催される中日クラウンズと並んで「春の和合、秋の三好」として全国的にも広く認知され注目を集める大会の一つであります。

三好カントリー倶楽部の設立と東海クラシックの創設に深くかかわった佐々部晩穂氏、大島一郎氏は共に私どもロータリアンの大先輩で、佐々部氏は1946年と1954年、大島氏は1955年に名古屋ロータリークラブの会長を務められております。

大会54年の歴史の中で「魔の16番ホール」(195ヤード、パー3)において数多くのドラマが生まれました。同ホールはグリーンの左右の幅が狭く、左は谷底、谷底とグリーンの間には大木が生い茂っており、グリーン右はバンカー、しかもグリーン面は右から左に傾斜しているという難攻不落のホールであります。2017年の大会3日目、アメリカのスズン・ハン選手がティーショットを左の崖に落とし、このホールで11打を記録して優勝争いから一気に脱落したことは有名です。

今年も三好カントリー倶楽部での熱い戦いを期待したいと思います。

委員会報告

ニコボックス

☆ 鈴木康仁君 小池高弘君(蒲郡RC)

一宮・尾西RC合同ガバナー公式訪問に伺いました。本日はよろしくお願い致します。

野村和弘

次回の予定

16日 休会 定款第7条第1節d-1
26日 23日の例会変更 びさいまつり会場内
介助犬の啓発に関する社会奉仕事業
30日 イニシエーションスピーチ
角園 清君 重光裕文君

会 長 山 上 哲 司 会長エレクト 桑 原 英 寿
副 会 長 梯 國 彦 副 幹 事 吉 山 佐 人 規
幹 事 大 鹿 晃 裕 会報委員長 梅 谷 朋 志

☆ 伊藤光治君

昨日の商工会議所のゴルフコンペにて優勝してしまいました。滝先輩、桑原君とのパーティーでしたが、一切のストレスなく楽しくプレーできました。成績はNE Tで5番目、グロスで6番目でしたが、繰り上げ×4での結果です。とはいえ優勝というのは大変気持ちよく、これからも楽しくコンペに参加します。ありがとうございます。

☆ 中西啓太君

9月17日に行われました一宮ロータリークラブゴルフ同好会におきまして年間取切り戦にてトロフィーを頂ける事になりました。年間通しまして幹事の皆様、メンバーの皆様には大変お世話になりました。これからも精進して取り組みたいと思います。ありがとうございます。

☆ 山上哲司君 大鹿晃裕君

本日は2025-26年度国際ロータリー第2760地区鈴木康仁ガバナー、小池高弘地区幹事をお迎えして、当地区の方針と各クラブ運営についてのご指導を頂きたいと思致します。宜しくお願い致します。

出席報告

ビジター出席数	2名
現在の会員数	110名
本日の出席数	81名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2760地区

2025-26年度ガバナー

鈴木康仁君(蒲郡RC)



皆さん、こんにちは。本日は、一宮RCの皆様のご運営にて、尾西RCの皆様との合同例会でのガバナー公式訪問ということで、お邪魔させて頂きました。本日は、宜しく願致します。スライドにてのお話を始める前に、各クラブの会長さんの本年度に対しての思いに対し一言ずつ述べさせていただきます。

・一宮ロータリークラブさん。

クラブ計画書に書かれておいで所の所信で、山上会長は、こう仰られていました。「一宮RCが創立された頃とはまるで違う時代に、私たちは生きている。」と。現在の世界全体が複雑な課題に直面する中でも、「できる限り国際的な支援や奉仕を続けていきたい」という思いは、本

当にロータリーらしい決意だと思いました。そして一宮ロータリークラブさんは、親睦を大切にしながら、社会の変化に応じて改革を続けてこられました。積み重ねてきた文化をこれからも継承していくという姿勢にも、私は、強く共感させて頂きました。そして本年度、7/21にインターアクト年次大会をホストとして開催していただき、次代を担う若者たちに大きな学びと交流の場を提供して頂いた事に、この場をお借りし感謝申し上げます。ありがとうございます。

・尾西ロータリークラブさん。

水谷会長のテーマ「地域のみなさまに感謝 地域を紡ぎ、未来を育む」。とても素敵な言葉ですね。地域に寄り添って感謝を奉仕に変え、支え合いながら活動していく姿勢は、まさにロータリーらしさそのものだと思います。そして本年、尾西クラブは創立70周年という大きな節目を迎えられました。長きにわたり地域に奉仕を重ねてこられたその歴史に、深く敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。誠にありがとうございます。

本日こうして、社会の変化に対応し改革を重ねてこられた一宮さん、そして地域に寄り添い奉仕を重ね70周年を迎えられた尾西さん——両クラブの皆さまと一緒にできることを、嬉しく思っております。

1. RI会長のメッセージに込められた意味

2025-26年度、国際ロータリー会長フランチェスコ・アレツツォ氏は「よいことのために手を取りあおう」というメッセージを掲げられました。この言葉はとてもシンプルですが、その奥に深い意味が込められています。「よいこと」とは何か。私たちに与ってそれは 地域社会に役立つこと、友情を育むこと、平和を築くこと であります。そして「手を取りあう」とは、一人ではできないことを、仲間と共に力を合わせて実現していくということです。最初の4人が集い、友情を分かち合ったことから始まったロータリーは、今や116万3048人を超える会員組織に成長しました。すべては「手を取りあう」という行動の積み重ねによるものです。

2. 会員増強の重要性

そこでまず強調されたのは、「会員増強」です。国際ロータリー会長も「1に会員増強、2に会員増強、3に会員増強」と強調されています。残念ながら世界全体の会員数は減少傾向にありますが、第2760地区は4,516名と、増加しています。これは皆さまのご努力の賜物です。ロータリーにとって会員こそ宝です。新しい仲間との出会いは、クラブに新しい風を吹き込み、持続的な奉仕を可能にします。私たち一人ひとりの歯車が噛み合っただけで、ロータリーという大きな機械は力強く動き出すのだと思います。

3. 2760地区の紹介

地区の役割は、国際ロータリーを構成している各クラブの活性化をサポートすることです。ガバナーのみが国際ロータリーの役員であります。よって如何にクラブをサポートするかを考え毎年組織図を考えます。各クラブの理事会で承認された出向者の方々が、その専門分野におけるスキルを高めてもらうことは勿論、各々クラブに持ち帰って頂きクラブの為に役立っていただくこと。そして委員会は、クラブサポートする術を研究し実践することにあると考えています。

4. 地区のテーマ「ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう！」

私が掲げる今年度の地区方針は「ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう！」です。ロータリーは学びの場であり、同時に実践の場でもあります。例会での卓話、委員会での議論、クラブ活動の体験。そこには生きた学びがあり、それを仲間と共に社会に還元するのが私たちの使命です。

「縁尋機妙、多逢聖因」という言葉があります。良い縁が次の縁を呼び、良い人との交わりが豊かな結果をもたらすという意味です。さらに「錯集文成」、異なる人々が集まり、意見を出し合うからこそ発展がある。これらは正にロータリーのそのものだと思います。

5. 「3-Year Rolling Goals」と継続性の意義

国際ロータリーでは、ロータリー行動計画なるものを策定しています。インパクトをもたらす、基盤を広げる、かわりを促す、適応する。これが、4つの優先事項です。そして昨年度より「3 years rolling goals」

を推進しています。これは単年度制の中で継続性を確保し、クラブの活動を次年度、さらにその先へと繋げる仕組みです。本年度は、その二年目になります。二年目は、月次チェックをしながらということと、その進捗度を報告するサポートミーティングを行いましょうということになっています。

このサポートミーティングについては、会長さん対象となっています。ガバナーと会長さんのコミュニケーションをしっかりとってくださいというのがこの主旨です。ただ、今やって頂いているものは、あくまで一つのクラブ活性化の為にツールであり、クラブセントラルを活用し、4つの優先事項に沿った数値目標を定め、単年度制の中で継続性を育んでいくことが、今の国際ロータリーの方向性でありますのでそこところはご理解頂ければと思います。

6. ポリオ根絶という大きな約束

私たちが世界に果たすべき最大の責務の一つが「ポリオ根絶」です。これは「世界の子どもたちとの約束」であり、ロータリーの誇り高い挑戦です。尾身茂先生からのご講演にもあった通り、この運動は歴史的に見ても人類の大きな挑戦です。当地区では「TEAM SUZUKI」という会議体を立ち上げ、ガバナー補佐を通じてクラブと連携しながら各クラブのポリオ根絶啓発活動のサポートをしてまいります。地区としては、チャリティゴルフコンペや尾身茂先生による一般向け講演会を担当委員会で考えています。各クラブ独自の取り組みで要望または、困っておいでの場合、ガバナー補佐にお伝えください。

現在、各クラブの皆様方が、ポリオに特化した例会・ファウンド事業・又分区を揚げての取り組みを考えて頂いていることにとても嬉しく思っています。ここにポリオポータルサイトの紹介をさせて頂きます。その中に、ポリオに関する多くのヒントが載っておりますのでご活用ください。更に毎年、開催されている「全国ポリオ根絶フォトコンテスト」に、是非事業をなされた時の、良い写真を応募して頂ければと思います。

7. 青少年への投資と平和構築

ロータリーの未来は青少年にあります。インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換、学友、米山奨学などのプログラムを通じて、若い世代に学びと友情の機会を提供することは、やがて世界平和への基盤を築くことに繋がるものと考えています。教育と識字率向上は、貧困を防ぎ、紛争を避ける力を持っています。これこそが「積極的な平和(Positive Peace)」を実現する道です。こちらへのご支援もお願い致します。

8. 地区大会・国際大会への参加のお願い

今年度は11月8・9日に豊川ロータリークラブさんのホストで豊橋・豊川の地で地区大会を開催いたします。国際ロータリー会長代理ご夫妻をお迎えし、青少年フォーラムや講演、交流の機会を設けていますのでごぞってご参加ください。また、国際大会や地区ナイトもぜひ積極的にご参加ください。異なる地域、異なる国の仲間との出会いは、クラブ活動に大きな刺激と学びを得る機会です。又、本年度は、台湾と近いです。台湾の姉妹友好クラブとの交流の場として頂いても結構です。ですのでご参加の程よろしくお願い致します。

9. さいごに

最後に私の座右の銘を紹介し結びといたします。「笑門来福」、笑いを絶やさず、ともにロータリーを楽しんでまいりましょう。素晴らしい一年になることをご祈念申し上げます。



例会前に特別会議室にて会長・幹事懇談会が開催されました。